

2015年9月号(第64号)

発行／企画 社協・編集会議

社会福祉法人横浜市戸塚区社会福祉協議会
住 所：〒244-0003 戸塚区戸塚町 167-25
T E L：045-866-8434
F A X：045-862-5890
E-mail：info@totsukashakyo.com
http://totsukashakyo.com/

社協とつか

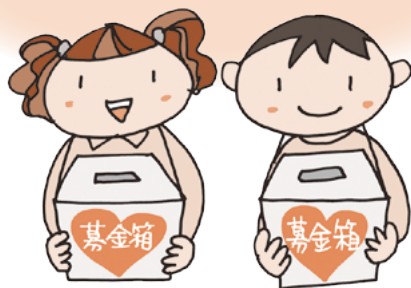
赤い羽根共同募金運動が始まります！

募金期間：10月1日～12月31日

10月1日から赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まります。昨年度戸塚区では皆さまのご協力により**24,923千円**の募金が集まりました。たくさんのご協力、ありがとうございました。

皆さまから寄せられた募金は、身近な地域で「じぶんの町を良くするしくみ」として、戸塚区内で地域福祉活動

今年も、皆さまの温かいご協力を
お願いいたします



をしている団体や障がい当事者のグループ等に配分し、活用されています。



今年の共同募金PR大使は
野毛山動物園のツキノワグマ
“**サンペイくん**”と
“**コマチちゃん**”です。

こんな活動に
活用されています！
共同募金受配団体の
ありがとうメッセージ

芹ヶ丘 ボランティア青空

丘陵地の住宅団地内で、買い物の車両送迎をしているボランティア団体です。



最寄りのスーパーまでは急な坂道が続くため、足腰の不自由な高齢者や障がいのある方は、買い物に難儀しています。そんな負担を、自動車での送迎で解消しようとはじめて15年目を迎えました。ドライバー16人、案内役15人の31人のメンバーで週3日活動し、利用者は毎月延べ100人居ます。こうした活動を続けられるのも、共同募金からの助成金や地域の皆さまからのご寄付のお陰と感謝しています。「人の喜びは自分の喜び」と代表の天沼松次郎さんあまぬまつじろう。「土地柄にあったボランティア活動」をモットーに活動しています。

地域の活動紹介コーナー (戸塚第二地区)

「社協の活動をご存知ですか」

アンケートの実施



にしむらくにお
西村邦夫会長

戸塚第二地区社会福祉協議会 ^{にしむらくに}西村邦夫会長に、その思いを伺いました。

ご自身が全くの素人だったことから社協を一から学ばれたところ、社協の実態調査の必要性を感じられたとのこと。

社協の理事及び役員で検討を重ね、全戸約1,500世帯を対象に「社協の活動をご存知ですか」というアンケート調査を実施しました。回収率約14%、社協の認知度は50%に満たず、特に若い世代には低い結果でした。

対策として、住民への周知のため、「社協だより」を2カ月ごとに全戸配布することにしました。

アンケートから、ボランティア活動に関心のある方もわかり、ボランティア勉強会の実施も視野に入れています。

社協は、すべての世代の方々に関連する活動です。その活動が実績を積み、課題が見つかればその対策を考え、また新たな活動につなげていく、このサイクルが軌道にのることを目指しています。

社協の活動をご存知ですか アンケート項目 (抜粋)

1. 戸塚区第二地区社協の存在をご存知ですか
2. 本会独自事業・連合町内会との共催事業をご存知ですか
3. 戸塚第二地区社協の活動で強化してほしい活動分野はなんですか
4. 万一、災害が発生した時に、周囲に相談できる人はいますか
5. 地域と絆を強めたいと思いますか
6. 絆を強めるためには、どんな活動が良いと思いますか
7. 絆を強めるための活動に参加したいですか
8. ボランティア活動に興味はありますか



福祉人材シリーズ 戸塚の輝くひと



特別養護老人ホーム「^{なご}和みの園^{その}」(東俣野町) 介護職員 ^{あか}赤間 ^{たかゆき}貴行さん (30歳)

「一日一笑」

—仕事内容を教えてください—

日常生活に必要な介護の他、音楽などのレクリエーションも行っています。夏には一大イベントの納涼祭があり、今年は委員長に任命されました。職場内の雰囲気も明るく、笑顔の絶えない職場です。

—なぜ介護職員になりたいと思われたのですか—

祖父母の家が隣同士だったため、幼い頃から高齢者と接することが多く、いつも身近に感じていました。物づくりよりも、人と触れ合うことが好きで、自然と福祉の道に進んでいました。

—仕事の魅力を教えてください—

ご利用様は、人生の大先輩です。戦争を体験している方が大半なので、当時の話を聞けることも魅力のひとつです。何より、「ありがとう」と感謝されるとやりがいを感じます。ご利用様の思いやりに支えられながら、日々仕事に励んでいます。

—心がけていることはありますか—

やさしい気持ちをもつことが一番大切だと思います。技術や知識は後から身につけてきますので、一生懸命仕事をしていればきっと相手にも気持ちは伝わります。

—「社協とつか」読者へメッセージをお願いします—

「まずは、ぜひ見学に来てください！」 きっと介護業界のイメージが変わると思います。

“一日一笑”を大切に、これからも笑顔でこの仕事を続けていきたいと思っています。

平成26年度事業報告・決算報告 ダイジェスト

《経常活動による支出内訳》

1. 法人運営 15,162千円	会員相互の連携強化を図るとともに、会員の加入促進を進めました。 ・部会の開催(2回)、福祉のしごとフェア(2回) ・集合住宅団地つながる連絡会(2回) ・生活福祉資金貸付(相談件数1,715件、貸付件数44件)
2. ボランティアセンター事業 387千円	住民主体の福祉のまちづくりを推進し、福祉教育を推進しました。 ・小中高生を対象とした福祉体験事業(参加者:小学生向け:91名、中学生向け延べ155名)
3. 地区社協活動支援事業 ※1,345千円	区内17地区社協活動への支援を行いました。 ・助成金の配分 ・地区社協訪問等の日常的支援 ・地区社協分科会(6回)、研修会(3回)の開催
4. 福祉保健活動拠点運営 15,885千円	戸塚区福祉保健活動拠点フレンズ戸塚を運営しました。 ・戸塚区福祉保健活動拠点フレンズ戸塚開所15周年事業 ボランティア活動の活性化と継続活動の支援、人材育成の推進を図りました。 ・ボランティアコーディネート(相談件数:2,948件) ・ボランティア講座の開催(10講座)
5. 共同募金配分事業 ※16,478千円	共同募金の配分金を財源として事業を実施しました。 ・戸塚区社協ふれあい助成金財源(*) ・新たなニーズを解決するための新規事業助成(110件、10,508千円) (4件、1,915千円) ・広報紙「社協とつか」の発行(年3回) ・障がい福祉シンポジウムの開催 ・とつかボランティアバスの実施
6. 善意銀行運営 1,660千円	・善意銀行事業の実施 ・戸塚区社協ふれあい助成金財源(*)
7. 送迎サービス事業 4,675千円	外出困難な高齢者・難病患者・障がい児者等に対し、通院・福祉施設・行政機関での手続き等の際に送迎を実施し、外出する機会を提供しました。(登録者158名、利用回数1,392回)
8. 移動情報センター事業 7,964千円	移動に困難を抱える障がい児者等からの相談に応じて、支援制度のご案内やサービス事業者等の紹介、ボランティア等のコーディネートをを行いました。(相談件数296件)
9. 権利擁護事業 539千円	金銭等の管理に不安のある高齢者や障がい者の財産や権利を守り、安心して日常生活が送れるよう支援しました。(契約者38名、相談件数3,632件)
10. 地域福祉活動推進事業 ※7,113千円	・とつかハートプラン(戸塚区地域福祉保健計画)の推進 ・地域ネットワーク訪問事業の実施 ・戸塚区社協ふれあい助成金財源(*)
11. 福祉基金 308千円	
合計 71,516千円	

「※」の数字は、共同募金配分金も含めた事業活動支出です。

平成26年度決算報告

経常活動による収入合計①	65,650千円
前年度繰越金②	20,253千円
経常活動による支出合計③	71,516千円
次年度繰越金①+②-③	14,387千円

平成27年度事業計画・予算 ダイジェスト

戸塚区社会福祉協議会は「誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現」に向けて取り組んでいきます。

【重点推進項目】

○身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業の推進

【重点事業】

- 小地域福祉活動の推進・支援
 - 地区社協活動の推進
 - 第3期とつかハートプラン(戸塚区地域福祉保健計画)の策定・推進
- 地域における権利擁護の推進
- ボランティアセンター機能の強化
- 介護保険制度改正に基づく地域支援事業への関わり
- 社会福祉法人の社会(地域)貢献活動への支援



平成27年度当初予算

経常活動による収入合計	62,189千円
前年度繰越金	15,400千円
経常活動による支出合計	77,589千円

※戸塚区社会福祉協議会事業報告・決算報告並びに事業計画・予算の詳細につきましては、本会ホームページに掲載しております。

平成27年・28年の社協とつか編集委員をご紹介します。

小川道子(戸塚第一地区)、前田明子(戸塚第二地区)、猪熊清子(戸塚第三地区)、伊賀博文(踊場地区)、中村行雄(北汲沢地区)、井上昇一(舞岡地区)、岡部光雄(川上地区)、野尻恵美子(柏尾地区)、大副祥一(東戸塚地区)、植木昭彦(平戸地区)、高田雅子(平戸平和台地区)、平野博子(上矢部地区)、坂佐井八郎(名瀬地区)、稲荷暁美(大正地区)、佐竹眞吾(汲沢地区)、原野裕子(上倉田地区)、須藤昭生(下倉田地区)



ボランティア情報

社会福祉法人横浜市戸塚区社会福祉協議会とつかボランティアセンター

2015年9月発行

さあ、ボランティア活動をはじめよう。

～傾聴ボランティア養成講座のすすめ～

とつかボランティアセンターでは、傾聴ボランティア養成講座を開講します。傾聴ボランティアとは、悩みや寂しさを抱える高齢者等の話を聴き心のケアをする活動で、ボランティア活動依頼も数多く受けています。講義とボランティア体験実習のプログラムなので、ボランティア活動がはじめての方でも安心して受講できます。ぜひとも、受講してみませんか。

(講座のご案内)

日 程	時 間	内 容
平成27年11月12日(木)	10:00～12:00	傾聴とは？
11月18日(水)	10:00～12:00	技法①受容と共感
11月25日(水)	10:00～12:00	技法②ロールプレイ
11月下旬～1月上旬	別途ご連絡します	ボランティア体験実習 (区内高齢者施設等)
平成28年1月20日(水)	10:00～12:00	振り返り 今後の活動について



傾聴ボランティアは、
お相手の話を
じっくり「聴く」
ボランティア活動です。

- 申込み方法：往復はがきに①(講座名)傾聴ボランティア養成講座②住所③お名前④年齢⑤性別⑥電話番号⑦受講動機を明記の上、とつかボランティアセンター(下記)までお申込みください
- 締 切 り：10月20日(火)必着
- 受 講 料：1000円(全5回)
- 受 講 者 数：20名(申込み多数の場合は、抽選となります)
- 応 募 条 件：全日程受講できる方及び講座終了後、とつかボランティアセンターで立ち上げる傾聴ボランティアグループに所属し、活動できる方。

編集 後記

社協とつかの名編集長天沼松次郎氏のご自身のボランティア活動に力を入れたいということで、ご退任されました。平成7年2月の第3号から20年の長きにわたり編集に携わっていただきました。社協とつかイコール天沼松次郎氏と言っても過言ではありません。有難うございました、お疲れさまでした。新編集長として大副祥一おおぞえしやういちが務める事になりました、今後とも、皆様に愛読していただける社協とつかを目指してまいりますのでよろしくお願いいたします。

編集長 大副祥一

とつかボランティアセンターのご案内

● ボランティア相談窓口

(戸塚区福祉保健活動拠点フレンズ戸塚1階)

月曜～土曜日 9:00～17:00

※日・祝日、年末年始(12月29日～1月3日)を除く

TEL: 045 (866) 8483

FAX: 045 (862) 5890

E-mail: volunteer@totsukashakyo.com



「社協とつか」は区民の方々から寄せられた共同募金の一部を用いて発行しています。